



ユーザ ディレクトリ情報の 管理

システム管理者は、Cisco CallManager Administration の [ユーザの設定] ウィンドウを使用して、Cisco CallManager のユーザに関する情報を追加、検索、表示、および管理できます。この章では、ユーザ ディレクトリ情報を管理する際に使用するオプションについて説明します。

ユーザを追加し、アプリケーション プロファイルを設定する手順の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」の項を参照してください。

ユーザを検索する手順、および既存のユーザ情報を更新する手順については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Global Directory の検索」の項を参照してください。

この章の構成は、次のとおりです。

- [Cisco JTAPI によるユーザ ディレクトリの使用方法 \(P.18-2\)](#)
- [ユーザ情報 \(P.18-2\)](#)
- [アプリケーション プロファイル \(P.18-3\)](#)
- [Global Directory 検索のヒント \(P.18-8\)](#)
- [ユーザ ディレクトリ管理の設定チェックリスト \(P.18-11\)](#)
- [参考情報 \(P.18-12\)](#)

Cisco JTAPI によるユーザ ディレクトリの使用方法

Cisco Java Telephony Applications Programming Interface (JTAPI) は、ユーザ ディレクトリを使用してどのデバイスが制御可能か判別し、発信側 (Cisco CallManager エクステンション モビリティのログインを開始するユーザなど) の Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスを取得する目的で使用するインターフェイスを提供します。

Cisco JTAPI をインストールした後、Cisco CallManager ディレクトリにアクセスすることができます。このディレクトリは、JTAPI を初期化するパラメータ、ユーザ プロファイル、アプリケーション ロジック、およびネットワーク固有の設定情報 (たとえば、ネットワーク リソースの位置やシステム管理者の認証) を保存します。

ユーザ情報

一般に、ユーザ情報の入力はおプションです。この情報が入力されているかどうかにかかわらず、デバイスは機能します。ただし、ユーザがここで入力した情報は、Directory Services、Cisco CallManager Attendant Console、Cisco IPMA、Cisco CallManager エクステンション モビリティ、および Cisco IP Phone User Options ウィンドウにも使用されます。ユーザにこれらの機能を提供する場合は、すべてのユーザとその電話番号についての情報をユーザ情報のウィンドウに入力する必要があります。また、電話機のある会議室などの区域のリソースについての情報 (この情報は、Cisco CallManager Attendant Console に役立ちます) も、ユーザ情報のウィンドウに入力します。

ユーザを追加し、アプリケーション プロファイルを設定する手順の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」の項を参照してください。

アプリケーション プロファイル

新規ユーザを追加した後、Cisco CallManager Administration の [ユーザの設定] ウィンドウにある [次のアプリケーション プロファイル] ペインのオプションを使用して、ユーザ プロファイルを設定できます。各ユーザはこれらのプロファイルを使用して、電話機の機能、Cisco IPMA、Cisco CallManager エクステンション モビリティ、および Cisco IP SoftPhone の機能を個別に設定できます。

ユーザのアプリケーション プロファイルの設定方法については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーション プロファイルの設定」の項を参照してください。

デバイスの関連付け

ユーザにデバイスを関連付けると、指定したデバイスのユーザ制御権がユーザに与えられます。ユーザは、電話機など一部のデバイスを制御できます。ユーザとして指定されたアプリケーションは、CTI ポートなど他のデバイスをコントロールします。ユーザが電話機の制御権を持つ場合、その電話機の特定の設定値（たとえば、短縮ダイヤルや自動転送）をコントロールできます。

[デバイスの割り当て] ウィンドウは、デバイス フィルタ セクションと、使用可能なデバイスのリストで構成されます。



(注) H.323 デバイスなど、CTI で制御できないデバイスの場合は、使用可能なデバイスのリストにあるデバイス アイコンの横にアスタリスク (*) が表示されます。すべてのデバイスの関連付け動作は、機能が設定されているデバイス タイプに関係なく同じになっています。

使用可能なデバイス一覧のフィルタ

デバイス フィルタを使用すると、デバイスの名前、説明、または電話番号の全部またはその一部を検索条件として入力して、デバイスのリストを限定できます。使用可能なデバイスのリストを特定の選択項目に限定するには、次の方法で、検索する条件を入力してください。

- デバイスの名前、説明、または電話番号を選択する。

■ アプリケーション プロファイル

- 比較演算子を選択する。
- テキストまたは番号項目を入力する。

たとえば、「5」で始まるすべての内線番号をリストするには、[このデータで始まる電話番号] を選択した後、テキストボックスに 5 と入力します。

使用可能なデバイス

デバイスを表示するための検索条件を指定すると、その条件と一致する使用可能なすべてのデバイスが、[使用可能なデバイス] リストに表示されます。このリストは、20 個単位のデバイスのグループで表示され、ウィンドウ下部にあるボタンを使用してナビゲートできます。デバイス リストのページをスクロールするには、[最初]、[前へ]、[次へ]、および [最後] をクリックします。または、ウィンドウの入力ボックスにページ番号を入力して [ページ] をクリックすると、特定のページにジャンプすることもできます。

既存のユーザに対するデバイスの割り当てを変更する場合、そのユーザに以前に割り当てられたデバイスが、デバイス リストの先頭のグループに表示されます。

そのデバイスの隣にあるチェックボックスをオンにすると、そのユーザに 1 つ以上のデバイスに関連付けることができます。1 つのデバイスに複数の内線番号が関連付けられている場合、各回線の内線番号がリストに表示されます。1 つの回線の内線番号を選択するだけで、そのデバイスに関連付けられているすべての回線が選択されます。

デバイスをユーザに割り当てる方法の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ユーザとデバイスとの関連付け」を参照してください。

Cisco IP Manager Assistant プロファイル

Cisco IP Manager Assistant (Cisco IPMA) 機能を使用すると、マネージャとそのアシスタントが効果的に協力して作業できます。Cisco IPMA は、プロキシ回線サポートと共有回線サポートの 2 つのオペレーション モードをサポートしています。Cisco IPMA サービスは、クラスタ内でプロキシ回線サポートと共有回線サポートの両方をサポートしています。Cisco CallManager ユーザには、マネー

ジャとアシスタントがあります。ルーティング サービスはマネージャのコールを代行受信し、適切にルーティングします。アシスタント ユーザは、マネージャの代わりにコールを処理します。

Cisco CallManager のユーザ情報のウィンドウで、Cisco IPMA 機能を使用するマネージャおよびアシスタントの設定値を指定します。IPMA はプロキシ回線モードまたは共有回線モードで設定できます。

このウィンドウで次の機能を実行します。

- 必要に応じて、マネージャ デバイスまたはアシスタント デバイスを自動的に設定する。
- マネージャが在宅勤務者かどうかを選択する。
- マネージャが共有回線を使用するかどうかを選択する。
- マネージャ デバイスおよびアシスタント デバイスを選択する。
- マネージャのアシスタントを設定する。
- インターコム機能のプライマリ回線および着信インターコム回線を設定する。
- アシスタントの電話機に各マネージャのプロキシ回線を設定する。
- ユーザ情報のウィンドウに表示されるローカル言語を選択する。

Cisco IP Manager Assistant の詳細については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant」および「共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant」を参照してください。

Cisco CallManager Auto Attendant プロファイル

Cisco CallManager Automated Attendant (AA) サービスは、着信コールに応答して、発信者にユーザ名または内線番号をプロンプトで尋ねます。Cisco CallManager AA は、ディレクトリをスキャンして一致するユーザ名または内線番号を解決し、発信者を適切なエンドポイントに転送します。

Cisco CallManager AA サービスは、各ユーザ名に固有な電話機のキーパッドの数値表示を必要とします。新規ユーザを追加した後、マッピングが生成されます。数値表示は、姓、名、およびミドルネームのイニシャル (LastFirstM) のアルファ

■ アプリケーション プロファイル

ベットを、電話機の対応するキーにマッピングしたものです。生成後、Cisco CallManager AA はその数値表示をユーザ テーブル内の既存ユーザすべてと突き合せて検査します。

番号が固有である場合、Cisco CallManager AA はその番号を使用して、ユーザの識別に必要な最少の桁数を判別します。番号が固有でなく、同じ名前や同じ数値マッピングがある場合は、キー入力重複していることを示すプロンプトが返されます。この場合は、ユーザ名を変更するか（ニックネームを使用するか、ミドルネームのイニシャルを削除して）、重複を許可することができます。

Cisco CallManager Auto Attendant プロファイルとユーザとの関連付けの詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「自動アテンダント プロファイルの関連付け」を参照してください。

Cisco CallManager エクステンション モビリティ プロファイル

Cisco IP Phone を一時的にユーザの電話機として設定するには、Cisco CallManager エクステンション モビリティを使用します。ユーザがある電話機にログインすると、ユーザのエクステンション モビリティ プロファイル（回線番号や短縮ダイヤル番号など）がその電話機に常駐します。この機能は、電話機がユーザに恒常的に割り当てられていない環境で主に使用されます。

ユーザ デバイス プロファイルおよびデバイス プロファイル デフォルトは、Cisco CallManager エクステンション モビリティ機能をサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルには、次の情報があります。

- デバイス プロファイル情報：デバイス タイプ、ユーザ デバイス プロファイル名、説明、ユーザ保留オーディオ ソース、およびユーザ ロケール
- 電話ボタン情報：デバイス タイプに対応する電話ボタン テンプレート
- ソフトキー テンプレート情報：使用可能なソフトキー テンプレートのリスト
- 拡張モジュール情報：Cisco IP Phone 追加モジュール（Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 など）
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 情報：MLPP ドメイン、通知、および優先処理の設定
- ログアウト デフォルト プロファイル情報：ログイン ユーザ ID

ユーザの認証は、認証方式で行われます。ワークフロー エンジンには、HTTP post 要求を介して XML スtring をログイン サービスに送信します。String は次の項目で構成されます。

- ログイン アプリケーションのユーザ名とパスワード
- ユーザがプロフィールを常駐させる先のデバイスの MAC アドレスに基づいたデバイス名

ユーザのデバイスに、ダイアログ プロンプトが表示されます。

Cisco CallManager エクステンション モビリティの詳細については、『*Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「Cisco CallManager エクステンション モビリティ」を参照してください。

Cisco IP SoftPhone プロファイル

デバイス（回線）を Cisco IP SoftPhone としてユーザに関連付けることができます。この機能により、ユーザはデスクトップ PC を使用して電話をかけたり受けたりすることができ、また IP Phone を制御できます。

回線を Cisco IP SoftPhone としてユーザに関連付ける方法については、『*Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド*』の「Cisco IP SoftPhone プロファイルの関連付け」を参照してください。Cisco IP SoftPhone の詳細については、『*Cisco IP SoftPhone アドミニストレータ ガイド*』を参照してください。

Global Directory 検索のヒント

Cisco CallManager の Global Directory には、Cisco CallManager ディレクトリ内のすべてのユーザの情報が含まれています。Cisco CallManager は、LDAP をインターフェイスとしてユーザ情報を含んでいるディレクトリから読み込みます。

Global Directory には、基本ユーザ検索または拡張ユーザ検索のどちらかを使用してアクセスします。

ユーザを検索する手順、および既存のユーザ情報を更新する手順については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Global Directory の検索」の項を参照してください。

新規ユーザの追加については、P.18-2 の「ユーザ情報」を参照してください。

関連項目

- [ユーザ検索の制限の設定 \(P.18-8\)](#)
- [基本検索 \(P.18-9\)](#)
- [詳細検索 \(P.18-9\)](#)

ユーザ検索の制限の設定

社内ディレクトリ内のユーザにアクセスする際の検索時間を制限し、Cisco CallManager のオーバーヘッドを軽減するには、2 つのエンタープライズパラメータを設定します。これらのパラメータは、Cisco CallManager の User ウィンドウおよび Cisco IP Phone のディレクトリ ボタンからのユーザ検索に適用されます。

- **Enable All User Search** : このパラメータは、デフォルトでは True に設定されています。False に設定した場合は、検索条件を入力して (名、姓、DN など)、社内ディレクトリ内のユーザ検索を実行する必要があります。
- **User Search Limit** : このパラメータは、デフォルトでは、一度に 64 の検索結果を指定します (1 ~ 64 の範囲の検索結果)。Enable All User Search パラメータが False に設定され、検索条件が設定されていない場合、このパラメータは無効になります。

検索結果は 64 に制限され、検索はランダムに行われます。ディレクトリ内のレコードが 64 より多い場合は、検索が検索制限を超えたためユーザは検索条件を絞り込む必要があるというメッセージが表示されます。

基本検索

基本検索ユーティリティは、検索条件として入力された文字列と、名、姓、およびユーザ ID の各フィールドと一致していないか検索します。たとえば、検索フィールドに「li」と入力した場合、検索結果には、その文字列と一致する名、姓、またはユーザ ID を持つユーザが含まれます。この場合の検索結果は、次のリストを参照してください。

姓	名	ユーザ ID
Johnson	Charlie	cjohnson
Ni	Liang	lni
Collins	Manny	mcollins
Lin	Mike	michaell
Ivey	Gabriel	Gabrieli

2 つ以上の文字列をスペースで区切って入力すると、各文字列が 3 つの検索フィールドのどれかの検索条件と一致していないか検索します。

詳細検索

詳細検索ユーティリティは、組み込みのブール論理を使用して複雑な検索を実行します。次のフィールドを使用して、検索条件を入力できます。

- 名
- 姓
- ユーザ ID
- 部署名

任意の 1 つのフィールドに複数の名前または文字列をスペースで区切って入力すると、検索エンジンは、OR 関係演算子を使用してその要求を解釈し、指定された条件が当てはまる一致を検索します。たとえば、「john jerry」と入力すると、検索エンジンは名が John または Jerry であるすべてのユーザを戻します。

複数の検索フィールドに文字列を入力すると、検索エンジンは、AND 関係演算子を使用してその要求を解釈し、両方の条件が当てはまる一致を検索します。たとえば、名に「Ling」、姓に「Chu」と入力すると、検索エンジンは名前が Ling Chu のユーザを戻します。



ヒント

OR の場合は、1 つのフィールドに複数の項目を指定します。たとえば、次のように入力するとします。

名 : john jane
姓 : jones smith
ユーザ ID : jjones jsmith

この場合、(firstname="john" OR "jane") AND lastname="jones" OR "smith" AND (userid="jjones" OR "jsmith") の検索が行われます。

ユーザ ディレクトリ管理の設定チェックリスト

表 18-1 では、ユーザ ディレクトリ情報を管理する際の一般的な手順とガイドラインを示しています。

表 18-1 ユーザ ディレクトリ管理の設定チェックリスト

設定ステップ	関連した手順と項目
ステップ 1	Global Directory 内のユーザを検索します。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Global Directory の検索」
ステップ 2	ユーザを追加します。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」
ステップ 3	アプリケーション プロファイルを設定します。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「デバイス プロファイルの設定」
ステップ 4	必要に応じて、電話機テンプレートに Ad Hoc 会議用の Conf ボタンを追加するか、Meet-Me 会議用の MMConf ボタンを追加します。 このステップを行う必要があるのは、Cisco IP Phone 12 SP、12 SP+、および 30 VIP 電話機を使用する場合だけです。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタン テンプレートの変更」
ステップ 5	使用できる機能をユーザに通知します。 ユーザが Cisco IP Phone の各種機能にアクセスするための手順については、電話機の資料を参照してください。

参考情報

関連項目

- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「デバイスプロファイルの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IP Phone の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager Attendant Console の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Conference Bridge の設定」

参考資料

- Cisco IP SoftPhone アドミニストレータ ガイド
- Cisco IP SoftPhone ユーザ ガイド
- Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド
- Cisco IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (全モデル)